

役員・職員の紹介

【財】郡山地域テクノポリス推進機構・役員

【任期:平成21年4月1日～平成23年3月31日】 ※平成21年4月1日現在(順不同・敬称略)

理事長	丹治 一郎	郡山地域テクノポリス推進協議会長・郡山商工会議所会頭
副理事長	原 正夫	郡山地域テクノポリス市町村協議会長・郡山市長
副理事長	長門 昭夫	福島県商工労働部長
常務理事	熊田 正治	郡山商工会議所常務理事
理事	橋本 克也	須賀川市長
理事	木賊 政雄	鏡石町長
理事	加納 武夫	石川町長
理事	石森 春男	玉川村長
理事	鈴木 義孝	三春町長
理事	関根 郁夫	須賀川商工会議所会頭
理事	滝田 武	郡山地域テクノポリス推進協議会副会長・郡山地区商工会広域協議会会長
理事	境田 孝意	郡山地域テクノポリス推進協議会副会長・玉川村商工会長
理事	内藤 清吾	郡山地域テクノポリス推進協議会副会長・郡山商工会議所副会頭
理事	能勢 秀幸	(株)大東銀行 取締役社長
理事	出村 克宣	日本大学工学部長
理事	黒澤 茂	福島県ハイテクプラザ所長
理事	瀬戸 明人	(財)福島県産業振興センター理事長
監事	福井 邦顕	福島県経営者協会連合会会長
監事	倉田 雅人	東北電力(株) 郡山営業所長
監事	佐藤 憲喜	郡山市商工観光部長

【財】郡山地域テクノポリス推進機構・評議員

【任期:平成21年4月1日～平成23年3月31日】 ※平成21年5月8日現在(順不同・敬称略)

山川 充夫	福島大学経済経営学類教授
大川 知	会津大学コンピュータ理工学部教授
白井 健二	日本大学工学部工学研究所長
影山 弥	郡山女子大学家政学部教授
仲井 康通	福島県商工労働部産業創出課長
阿部 哲郎	郡山地域テクノポリス市町村協議会事務局長・郡山市商工労働課長
桑田 彰	福島県ハイテクプラザ副所長
大高 哲郎	福島県農業総合センター副所長
佐藤 長久	(財)福島県産業振興センター専務理事
吉川 勝郎	吉川特許事務所長
草野 美昭	須賀川商工会議所副会頭
作田 秀二	郡山商工会議所工業部会長
阿部 晃造	郡山商工会議所工業委員長
吉田 末男	郡山中央工業団地会会長
神田 雅彦	須賀川横山工業団地共栄会会長
櫛谷 昭一	(株)東邦銀行 取締役郡山支店長
前田 孝二	(株)大東銀行 執行役員本店営業部長

■交通アクセス



- 福島空港から郡山駅まで(シャトルバスで約35分)
- 郡山駅から南へ3km(車で約10分、バスで約20分)
- 東北自動車道・郡山南インターから東へ約6km(車で約10分)

郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会・委員

【任期:平成21年4月1日～平成23年3月31日】 ※平成21年4月1日現在(順不同・敬称略)

会長	丹治 一郎	(財)郡山地域テクノポリス推進機構理事長
副会長	栗山 邦城	郡山市副市長
副会長	出村 克宣	日本大学工学部長
副会長	大槻 順一	郡山商工会議所副会頭
委員	関根 郁夫	須賀川商工会議所会頭
委員	滝田 武	郡山地区商工会広域協議会会長
委員	境田 孝意	玉川村商工会長
委員	阿部 晃造	郡山商工会議所工業委員長
委員	今田 斉	(株)NTT東日本ー福島 郡山支店長
委員	鈴木 正博	(株)福島情報処理センター 代表取締役社長
委員	酒井 良信	(株)エフコム 代表取締役社長
委員	内藤 清吾	エヌケー・テック(株) 代表取締役
委員	水上 哲夫	(株)ぱすわーど 代表取締役
委員	上野 隆司	福島県企画調整部情報政策課長
委員	仲井 康通	福島県商工労働部産業創出課長
委員	桑田 彰	福島県ハイテクプラザ副所長
委員	新田 義晴	郡山市企画部長
委員	小林 正司	須賀川市産業部長
委員	木賊 正男	鏡石町総務課長
委員	南條 武義	石川町産業振興課長
委員	鈴木 孝	玉川村企画産業課長
監事	佐藤 憲喜	郡山市商工観光部長
監事	斎藤 隆	郡山商工会議所常務理事兼中小企業相談所長

【郡山地域ITリゾン機構】運営委員会・委員

郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会

【任期:平成21年4月1日～平成22年3月31日】 ※平成21年4月1日現在(順不同・敬称略)

杉山 安洋	日本大学工学部情報工学科教授
内藤 清吾	エヌケー・テック(株) 代表取締役
水上 哲夫	(株)ぱすわーど 代表取締役
水野 和彦	(株)ミズノ製作所 代表取締役
本田 啓之	(株)コンピューターシステムハウス 代表取締役専務
鈴木 正広	(株)福島情報処理センター 郡山システム部部长
斎藤 正弘	(株)エフコム 副本部長
石井 幸江	合資会社パソネットワールド 代表
菊池 輝夫	福島県商工労働部産業創出課主任主査
鈴木 正晃	郡山市企画部情報政策課長
石堂 完治	須賀川市産業部商工観光課長
木賊 正男	鏡石町総務課長
南條 武義	石川町産業振興課長
鈴木 孝	玉川村企画産業課長

【財】郡山地域テクノポリス推進機構・事務局

※平成21年4月1日現在

常務理事兼事務局長	熊田 正治	郡山商工会議所出向
事務局次長兼総務部長	本田 信博	福島県 OB
企画管理課長	穴戸 正浩	郡山市派遣
技術振興課長	岩崎 弘幸	須賀川市派遣
新事業支援課長	青山 茂夫	(株)大東銀行出向
インキュベーションマネージャー兼技術コーディネーター	宮越 稔	
技術コーディネーター	佐藤 彰	
技術指導員	中井 浩二	
情報支援担当 (郡山地域ニューメディアコミュニティ事業推進協議会総務担当)	村上 瑞恵	
総務担当	鈴木 琴子	
インキュベーションセンター総務担当	千原 英美	

財団法人 郡山地域テクノポリス推進機構

〒963-0101 福島県郡山市安積町日出山字北千保19番8 ビッグパレットふくしま 3階
 TEL : 024-947-4400 FAX : 024-947-4475
 E-mail techno@nm.net6.or.jp
 URL http://www.techno-media.net6.or.jp/

編集発行

サザンクロス



郡山地域テクノポリスは、高度技術産業の集積による新事業創出を導く、東北のサザンクロス(南十字星)となることを目指します。

Vol.57 2009.5

●編集発行
 財団法人 郡山地域テクノポリス推進機構
 郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会
 〒963-0101 福島県郡山市安積町日出山字北千保19番8 ビッグパレットふくしま3階
 TEL (024)947-4400 FAX (024)947-4475
 ■郡山地域テクノポリス推進機構ホームページ <http://www.techno-media.net6.or.jp/>
 ■インキュベーションセンターホームページ <http://www.monodukuri.net6.or.jp/>
 ■Eメール【テクノポリス】 techno@nm.net6.or.jp
 【ニューメディア】 info@nm.net6.or.jp

●特集 P1~P3

◆ごあいさつ
 ものづくりで「技術立国」の再構築目指す
 丹治 一郎

◎特別寄稿
 郡山から世界に向けた医療機器開発研究の現状
 齋藤 烈
 地域産業振興について思うこと
 加藤 康司

平成20年度 事業報告

●テクノピック P4~P7

- ・テクノポリス特別講演会2009
- ・第9回産・官・学連携フォーラム
- ・第10回ふくしまユニバーサルデザインフェア
- ・郡山市ものづくりマッチング交流会

●テクノナウ P8~P21

■新事業創出育成事業■ P8~P9
 ・ものづくりインキュベーションセンターだより

■人材育成事業■ P10~P14
 ・Meister's College(マイスターズ・カレッジ)
 ・学生ベンチャー支援事業
 ・高度IT人材育成事業
 ・IT交流プラザ活動報告

■研究会活動報告■ P15~P19
 ・郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議
 ・環境保全・共生科学技術研究会
 ・医療・福祉機器等関連新事業創出研究会
 ・機能性材料・製造プロセス研究会
 ・アドホック研究会(郡山)・須賀川方部アドホック研究会

■研究開発・事業化コーディネーター事業■ P20~P21
 ・平成20年度助成事業
 ・技術コーディネーター活動報告

●テクノインフォメーション P22~P23

- ・平成20年度理事会等の開催報告
- ・平成21年度の主な事業・イベント
- ・役員・職員の紹介

ものづくりで
「技術立国」の
再構築を目指す



財団法人郡山地域テクノポリス推進機構
理事長 丹 治 一 郎

新緑の候、郡山地域テクノポリス圏域の企業の皆様並びに関係各位には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素は当財団に対し格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、皆様、私たちは今、大変な時代と遭遇してしまいました。米国の行き過ぎた金融至上主義、一言でいえば、劣悪な金融商品をも価値あるものに見せかける商法がついに破綻し、金融機関だけでも二百兆円という損失が世界中にばらまかれました。その結果、製造業をはじめ他の産業に大きなダメージを与え、瞬く間に世界同時不況に陥ってしまいました。

かつて、米国は世界一の製造業の国でしたが、ものづくりの力を弱め、金融立国を目指した揚げ句がこの結果です。そこを反省することが世界の経済秩序を再構築する鍵になります。

オバマ新大統領は、米国が立ち遅れていた環境問題に取り組む姿勢を示し、環境工学を軸に経済・産業を立て直すことを明言しました。いわゆる環境ニューディール政策です。世界が大きく変わろうとしています。世界第二位の経済大国の日本が果たすべき役割も多いのではないかと思います。何と言っても、日本の強みはやはり「ものづくり」であり、技術立国として世界に貢献するのが日本らしいやり方だと思えます。

特に、公害の取り組みを通じて育った環境重視の気風がエコカーを普及させるなど、高度な環境先端技術や省エネ技術は世界のトップを走っており、これらの技術を支える超微細加工技術やマイクロエレクトロニクスの分野は他の追随を許さぬ日本のお家芸であります。

改めて言うまでもなく、当圏域にはこうした分野に対応できる優秀な企業が数多く存在あるいは立地しており、こうした非常事態を逆手にとって、企業発展の好機として内発型の展開に結びつけていけるか、まさに地域産業・企業の底力が問われていると思えます。

そのためにも、圏域企業の「技術力の強化」と、それを担う「ものづくり人材の育成」、そして様々な形での「産学官連携」を強力に推進することが重要かつ急務となっております。

当財団は、現在、研究開発への助成、事業化・起業化のコーディネート、さらには企業連携によるアライアンス形成会議等の各種研究会を開催するなど、地域産業の活性化に向けての活動を展開中です。また、平成18年には、県内初のものづくりの起業支援施設として「郡山地域テクノポリスものづくりイノベーションセンター」を整備し、そこを拠点に、新事業創出の支援、技術人材の育成に努めております。

今後も、こうした活動を充実させ圏域の中小企業支援機関として、引き続き頑張って参る所存でありますので、関係各位のなお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます、ご挨拶といたします。

郡山から世界に向けた医療機器開発研究の現状

日本大学工学部次世代工学技術研究センター(NEWCAT)
センター長 齋 藤 烈

最近リニューアルされた日大の当研究センターのホームページの冒頭でも述べているように、当センターで過去3年間に行われた研究で、学術論文発表285編、特許出願36件、企業への技術移転14件の成果があり、外部からの見学者も6千人にも達している。当センターは医療用診断機器の開発研究では世界でもトップレベルであり、医療機器研究の尾股定夫教授と遺伝子診断関連の私の研究室を中心にその研究水準は、東大・京大をはじめとする旧国立大学や国立研究機関の追隨をゆるさないほど高いものである。なぜなら、常時スタンフォード大学、ウメオ大学などの海外の一流大学や福島県立医大、民間病院・企業などと連携をとり、互いに切磋琢磨しているからに他ならない。



私が研究統括として参画した医療機器開発を目指す文科省都市エリア産学官連携事業(3年間で約9億円)がこの3月に終了し、多大な成果を挙げた。16個の試作品の完成と11件のビジネス化案件の成立がその成果である。全国数ある国家支援の研究プロジェクトでこれだけの成果を出した例を私は知らない。研究リーダーの尾股教授、竹之下誠一福島県立医大病院長、高橋隆行福大教授らの努力はもちろんだが、事業統括の福井邦顕日本全業工業会長と研究統括の私、事業化担当の小林利彰J&J須賀川事業所長のチームワークと県の熱烈な支援のお陰であり、全国に「福島モデル」として広く知られるようになった。残念ながら、財政上の理由でこの3月で打ち切られたのは誠に残念である。

今後10~15年の日本の産業構造を予想するさまざまなデータから、半導体、自動車、IT産業などは横ばい状態が予想され、これから着実に伸びていくのは再生医療、医療機器、高齢者用福祉健康機器などの産業にくわえてエネルギー関連産業であるといわれる。本県には現在100社以上の医療器材関連企業があり、医療関連の生産高は全国有数であり、本県が最も得意とする産業分野のはずである。医療バイオクラスターを郡山周辺に定着させ、そこで医療バイオ関係の人材育成とノウハウの蓄積を行い、関連企業の業績を伸ばしてやらないと、福島県はもとの農業県にもどってしまうことになる。本県で今後10年以上にわたって地道に育てていかなければならない最優先課題の一つは医療福祉産業の育成であるが、地元の医療関連産業においては、公的な支援に頼る事なく自力で成長するたくまさが切に求められる。

県の財政状況が厳しく従来通りの支援が難しい状況下で、私共はこの6月から文部科学省、日大本部、工学部の支援を得て新たに文科省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業として新しい医療バイオ関連の大型研究プロジェクト(5年間で約3億円)を発足させることになった。この夏にでも本プロジェクトのキックオフミーティングを都市エリアの研究グループ、日大医学部、福島県立医大、海外の大学の研究者にも多数参加していただき、盛大に開催したいと考えている。私も、京都大学から日大に招かれて5年が経ち、生まれ故郷の福島県の科学振興と産業の活性化に何とか貢献しようとしてきたが、郡山の医療バイオクラスターの火を消さないよう、県、市、財界の協力を得て、地元の期待に応えられるよう皆様方の御支援を切にお願いしたい。

【略歴】
齋藤 烈(さいとう いさお)
昭和34年福島高校卒
京都大学名誉教授
平成16年より日本大学工学部教授、平成19年より次世代工学技術研究センター長
アジアオセアニア光化学連合 APA Award 2008、米国科学振興連盟(AAAS)フェロー(2004)、日本化学会賞(2002)、IUPACフェロー(1999)、米国光生物学協会功績賞(1994)等国内外の受賞多数。

日本大学工学部環境保全・共生共同研究センター
センター長 加藤 康 司

『地域』を国語辞典で調べますと、「地形や行政管轄などの観点から、なんらかの意味でひとまとまりのものとして他と区別される土地」とあります。この定義によりますと、その地域の産業とはその地域の風土と特徴的な行政により育まれた結果のものと考えられます。

ここに風土は天与の自然と百年千年単位の祖先の営みにより形成されたものであり、行政は地域の今の住民が決めるものです。お国の統制が強い場合には、地域独自の行政と振興がままならぬこともあるでしょう。

地域産業の振興を計画するに当たっては、これらの理解に加え次の5点を深く考え、税金と政策あるいはボランティアによる振興の哲学と姿勢を長期間揺るがないものにすることが成功のための必要条件になるでしょう。

- ①地域風土の個性を活用するのか、しないのか？
山湖を守るのか、削り埋めるのか？
伝統的農林漁業を潰すのか、育てるのか？
- ②地域行政に特長と個性を形成するのか、しないのか？
自主独立型にするのか、中央追従型にするのか？
- ③地域振興は誰のための何年計画？
住民のため、移入者のため、お国のため、世界企業のため？
老人のため、若者のため、子・孫のため？
- ④何処の誰を相手とする産業にするのか？
地域内、国内、アジア、欧米、世界？
- ⑤産業を担う人と始めるための知恵・アイデア・経験・継続力を育てるのか、
輸入するのか？

①～⑤についてどのような見解をもって振興するにしても、産業を担い発展させる実践力は20～30代の若者でしょう。40代が管理職、50代が経営陣として決定権を持ちますが、やる気のある若者が魅力を感じて集まってこなければ産業も企業も成長できず枯れるのみになります。

よってこれから振興する産業の担い手を若者とすると、今の「大学生・高校生が共鳴し夢を膨らませる生き方と仕事の価値観」を正確に予測することが必要になります。一般に若者は新しいものや考え方に魅力を感じ夢を膨らませます。

日本大学工学部においては「健康で持続可能な自然共生の生活スタイルの確立」がこれからの日本の若者の生き方と仕事の価値観になると考えています。飽食・物余り・使い捨て・環境破壊・資源枯渇を体験し、未来への不安を持つ若者世代としては自然なことと考えられます。

この新しい価値観に基づく産業は大都会から離れた地域にこそ興せるチャンスがあると考えられます。過剰な情報に倦み、大都会や外国に特別な興味を持たなくなっている今の若者が挑戦の魅力を感じる産業テーマが、大都市以外の地域にこそ多数あると考えられます。それゆえに本工学部は10年前からロハス工学(LOHAS Engineering, LOHAS: Lifestyles Of Health And Sustainability)を全学科共通のテーマと定め、教育と研究を通じて地域に貢献することを大きな目標としてきております。このような本工学部の存在が郡山市における風土の一部と認識され①の考察の中に加えられるようになれば素晴らしいことと思います。

以上の諸点を深く考察した上で本工学部が今年から挑戦を開始した具体的産業テーマが「ロハスの家とコミュニティづくり」です。詳細な説明は工学部のホームページ <http://www.ce.nihon-u.ac.jp/lohouse> をご覧下さい。



【略歴】
加藤 康司(かとう こうじ)
山形県天童市出身
東北大学院工学研究科博士課程修了
同大工学部、大学院工学研究科教授などをへて07年4月から日本大学工学部教授、東北大学名誉教授

機械工学を専門とし、日本学士院賞、英国のトライブロギー・ゴールドメダル、米国機会学会マイヤー・ハーシー賞など数々の国際的な学会・機関の学術賞を受賞しており、スウェーデン王立科学アカデミーの外国人会員である。

テクノポリス特別講演会2009

「世界経済の動向から未来をよむ」～2009年 世界大恐慌をどう生きる～



【日時】平成21年3月2日(月) 13:30～15:00

【場所】ビッグバレットふくしま

【参加】約90名

【講師】シンクタンク 藤原事務所
所長 藤原 直哉 氏

【主催】(助)郡山地域テクノポリス推進機構

【共催】郡山地域テクノポリス市町村協議会／郡山
地域テクノポリス推進協議会／郡山地域ニ
ューメディア・コミュニティ事業推進協議会



藤原 直哉 氏プロフィール

- 1960年 東京都生まれ
- 1983年 東京大学経済学部卒業
- 1983年 住友電気工業株式会社入社
- 1985年 経済企画庁経済研究所出向
- 1987年 ソロモン・ブラザーズ・アジア証券会社入社
- 現在、シンクタンク藤原事務所所長

講演内容

1.世界大恐慌の現状

- ・金融危機は欧米の大銀行国有化へ
- ・産業危機は日本の輸出産業に壊滅的打撃
- ・生活恐慌で今年の日本人は大変
- ・政治主導のニューディール政策がなければ恐慌脱出は困難

2.世界大恐慌の出口

- ・世界大恐慌の出口は今とは全く違う時代
- ・世界から覇権が消滅。新興国も一からやり直し
- ・我々も価値観と生き方の変更を迫られる

3.本格的21世紀社会の到来

- ・21世紀社会の特徴は「少」エネルギー社会
- ・共生が新しい時代のキーワード
- ・御用達経済の時代



昨年からのアメリカ発金融危機の影響で世界同時不況となり、日本経済も円高の進行、株価の下落など急激な景気悪化に陥り厳しい状況が続いております。このような環境の中、「テクノポリス特別講演会2009」は、早急な経済危機克服に向けた取り組みが必要となり、企業の存続をかけた変革が迫られる地域の中小企業の方々に、新たな活力につなげていただくという趣旨で開催しました。

今回は、独立系シンクタンクとして「政治」「経済」「国際情勢」「組織のリーダーシップ」に関する独自の分析を行っている、シンクタンク藤原事務所所長の藤原直哉氏を講師にお迎えして、「世界経済の動向から未来をよむ」と題して、生き方革命 2009年世界大恐慌をどう生きるかについて講演を行いました。

藤原氏は、「ワールドレポート」を毎週執筆し、リーダーシップ教育のためのレポート「こころざし」を月2回発行しております。その他、社会人学校「藤原学校」を東京で月2回、全国各地で「藤原塾」も開催しております。さらに、NHKラジオ第一放送の「ビジネス展望」、山口放送ラジオの「情報ダブルクリック」にレギュラー出演されており、NHK文化センター青山教室では、「世界の中の日本経済」というテーマで講座を担当しています。

第9回産・官・学連携フォーラム (平成20年度第4回IT交流プラザ併催)

去る11月19日、日本大学工学部50周年記念館において、今年度で9回目を迎えた「産・官・学連携フォーラム」を開催しました。

日本大学工学部長 出村克宣氏、財団法人郡山地域テクノポリス推進機構 理事長 丹治一郎による主催者挨拶後、『デンソーのものづくり』と題し、株式会社デンソー東日本 代表取締役社長 森本有二氏が特別講演を行いました。



▲主催者挨拶 (財)郡山地域テクノポリス推進機構
理事長 丹治 一郎

【日時】平成20年11月19日(水) 13:00~14:30
【場所】日本大学工学部 50周年記念館
【参加】約300名
【主催】(財)郡山地域テクノポリス推進機構
日本大学工学部工学研究所
郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会



▲主催者挨拶 日本大学工学部長 出村 克宣氏

■ 特別講演

【講師】株式会社デンソー東日本
代表取締役社長 森本 有二氏

【講演内容】『デンソーのものづくり』

特別講演 要旨

- 1 自動車業界、部品業界の現状
- 2 デンソーのものづくり
 - (1)デンソーの紹介
 - (2)デンソーの発展の原動力



▲特別講演 (株)デンソー東日本
代表取締役社長 森本 有二氏

■ 経営の力

- ◇発展させた力の源泉
 - ・労使相互信頼の確立
 - ・先端技術、システムの吸収
 - ・品質、安全重視の風土としくみ
 - ・社是にこめられたデンソーの原点

■ 技術の力

- ◇コア技術の蓄積と展開
 - ・コア技術の設計生技一体活動による展開
 - ・ボッシュからの技術導入と卓越した技能の融合
 - ・IC技術の習得と苦難を乗り越えた事業拡大
- ◇時流に先んずる挑戦と事業成長
 - ・日本初・世界初への挑戦
 - ・世界一モノづくりへの挑戦

■ 人の力

- ◇人材育成と全員参加
 - ・モノづくりは人づくり
 - ・皆の協力で大きな仕事、大きな喜び
- ◇国際社会、地域社会との交流・共生

- 3 デンソー東日本の概要
(DENSO EAST JAPAN CORPORATION)

第10回ふくしまユニバーサルデザインフェア 交流と発見のUD祭

【日時】平成20年9月19日(金)~21日(日)
【場所】ビッグパレットふくしま
【来場】約12,000名
【主催】ふくしまユニバーサルデザインフェア実行委員会/
 (財)郡山地域テクノポリス推進機構/郡山商工会議所/
 福島県デザイン振興会/NPOふくしまユニバーサルデザイン
【共催】福島県/郡山市/須賀川市



今年で10年目を迎える本イベントは、『UDフェア10年の歩みとこれから期待されるUD発見!』をテーマとして、誰もが便利でやさしく利用できるUD(ユニバーサルデザイン)の商品、製品、システム等の展示や環境配慮を取り入れた人にやさしい生活、快適で幸せを実感できる街づくり、仕組みづくりの提案などを行いUD社会の実現のための一助として開催しました。

「生活」「住まい」「医療・福祉」「グループ・団体」の4ゾーンと「飲食」「ホビー・カルチャー」の2エリア及び郡山商工会議所大商談会「夢市」コーナーに県内外90の企業、団体、学校が出展し、人や環境にやさしいもの・システム・サービスやそれに関わる方々が一堂に会して、UDの大切さを広く発信し、交流を深めました。



イベント

■ UDセミナー

「違和感から気づく暮らしのユニバーサルデザイン」

【講師】トライポッド・デザイン株式会社
代表取締役 中川 聡氏



『トライポッド・デザイン歴史展』

「トライポッド・デザインの歩み」
~UD黎明期から今日まで~



■ UDフェアパネルディスカッション

「UD10年の歩みとこれから期待されるUD発見!」
~UDで生活のレベルアップと地域のものづくり~

【コーディネーター】
福島大学行政政策学類 准教授 鈴木 典夫氏

【パネラー】

トライポッド・デザイン株式会社
代表取締役 中川 聡氏

日本大学理事
福島県産学官連携アドバイザー 小野沢 元久氏

郡山人権擁護委員協議会
人権擁護委員 齋藤 鈴子氏

NPO法人ふくしまユニバーサルデザイン
理事長 佐々木 善壽氏



『ふくしまUDアーカイブ展』

ふくしまUDフェア10年の歩み



『UD音楽祭』

聴くとやさしい気持ちになれる
UD音楽
郡山市立安積中学校 合唱



『UDファッションショー』

協力：NPO法人ユニバーサル
ファッション協会
福島県内デザイン専門学校



第10回ふくしまユニバーサルデザインフェア (テクノポリス推進機構のUD開発製品)



▲「快適室内ベンチ」「入浴補助椅子」「労力軽減椅子」「UD礼服」など



▲来場者による試作品の品評:簡易式自転車ハンドル固定器具

郡山市ものづくりマッチング交流会

【日時】平成20年11月28日(金)

【場所】ビッグパレットふくしま

【来場】約150名

【主催】郡山市

【共催】郡山商工会議所

郡山地区商工会広域協議会

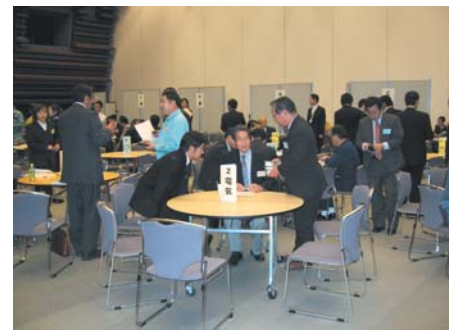
(助)郡山地域テクノポリス推進機構



▲郡山市長挨拶



▲基調講演



▲企業面談

去る11月28日(金)、ビッグパレットふくしまにおいて、郡山市主催、(助)郡山地域テクノポリス推進機構共催による「郡山市ものづくりマッチング交流会」が開催されました。

これは、製造業における地元企業と進出企業との、また地元企業間の新たな取引や連携拡大を図ることを目的に郡山市が初めて開催し、製造業を中心に約80社、約150人が参加しました。

第1部では、『より良いパートナーシップを目指して～コマツ郡山工場の取り組み～』と題し、株式会社小松製作所 エンジン・油機事業本部 副本部長 郡山工場長の小山猛氏がグローバル戦略や地域企業との協力について基調講演を行いました。

第2部では、ソニーエナジー・デバイス株式会社、東成エレクトロビーム株式会社、株式会社エヌケー製作所、株式会社北斗型枠製作所の4社が企業プレゼンテーションを行いました。

その後、引き続き企業面談が行われ、フリー面談では参加企業が電気、機械加工、表面処理などの業種別に分かれ、業種間や異業種間での情報を交換したり、取引や連携を求めて担当者の方々が面談を行いました。また会場内に7つの商談ブースを設け、交流会申込時に個別面談を希望した企業と指名を受けた企業との個別面談も同時進行されました。

郡山市では、ビジネスチャンスの創出に向け、今後も交流会の開催を予定しています。

ものづくりインキュベーションセンターだより

(助)郡山地域テクノポリス推進機構では国、福島県、郡山市、日本大学工学部等の助成を受け、平成18年8月に「郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター」を日本大学工学部敷地内に建設し、その管理・運営を行っています。

同インキュベーションセンターは、ものづくりによる新たな産業の創出を促進するための支援施設で、企業等の入居スペースのほか、研究開発による試作品を製作するための工作機械を備えた東北初の試作センターや40人収容可能な会議室を併設しています。

また、研究開発・事業化支援のための専門家を配置し、様々なサポートをハード・ソフトの両面から提供するとともに、郡山地域を中心とした大学等の知的財産や産業支援ネットワークを活用し、企業等の要望に応じて、技術シーズの事業化を支援しています。



支援メニュー

研究開発による新製品や新事業創出の成功確率を高めるため、研究開発に携わる指導者がいる大学の敷地内に、試作品を設計・製作する(場)、試作のための基本的な(設備)、経営・技術両面での支援のための(人材)を提供いたします。

場 日本大学工学部キャンパス内に新製品の研究開発拠点として、低廉な料金で入居可能な起業支援室(11室)を提供。(24時間365日利用可)

設備 試作品の製作に必要な各種工作機械を備えた試作センターを併設。(高精度立体加工用マシニングセンタ等を設置)

人材 ●インキュベーションマネージャーによる経営・技術両面でのアドバイスや各分野の専門家・支援機関などの紹介。
●技術指導員による試作センターでの試作品製作の際の技術指導。
●技術コーディネーターによる研究開発・起業化の助成支援、各分野の研究開発、大学・公設試験研究機関等の研究者との連携。郡山地域テクノポリス圏域の企業によるアライアンス(企業連携)形成への参加等。



展示コーナー



試作センター



起業支援室(事務室タイプ)



起業支援室(実験室タイプ)



会議室



ロビー

■NUBIC(日本大学産学官連携知財センター)郡山サテライトの開設

当財団と日本大学の連携により、郡山地域における知的財産・産学官連携活動を活性化し、日本大学及び企業間の共同研究、技術移転等を通じて地域産業の発展に寄与するため、「郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター」内にNUBIC郡山サテライトを平成19年7月から開設し、地域企業の皆様よりの技術開発等に係る相談に応じています。(19年度相談件数:10件、20年度相談件数:14件)

また、平成20年度から、当財団とNUBICのコーディネーターが直接企業を訪問し、シーズを紹介する「出前セミナー IN 企業」も開催しています。(20年度開催件数:3件)



出前セミナー

【主な相談内容】

- ・日本大学に属する研究者、研究シーズ、知的財産等の紹介、共同研究、技術指導等の斡旋
- ・知的財産制度、その運用等に関する情報提供
- ・研究開発支援制度、産学連携支援制度等の紹介 など

☆郡山地域をはじめ県内の中小企業・個人等が対象です。

☆相談は無料です。

※開設日時：毎月第4水曜日、午前10時から午後4時まで。事前申し込みが必要です。

※開設場所及び申込先：郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター

※なお、「出前セミナー IN 企業」を希望される企業については、開催日時等について調整が必要となりますので、事前に上記申込先へご相談ください。



相談の様子

■入居企業紹介

<p>【支援室 No.1】 企業名: ㈱ライブニュー 業種等: 土舗装材料の開発・販売・施工 本社所在地: 東京都 入居日: 平成20年2月1日 主な研究案件: ①水素触媒 ②天然土を主原料とした保水性土舗装材料 ③調質木材 など</p>	<p>【支援室 No.2】 企業名: ㈱タウザー研究所 業種等: 医療機器の設計開発 本社所在地: 郡山市 入居日: 平成20年2月1日 主な研究案件: ①乳がんチェッカー ②次世代型ヘッドフォン など</p>	<p>【支援室 No.3】 企業名: ㈱エキシライツ 業種等: 照明機器の設計・製造・販売 本社所在地: 東京都 入居日: 平成20年10月1日 主な研究案件: ①完全独立型ソーラーキセノン街灯 ②AC商用電源用キセノン照明器具 など</p>	<p>【支援室 No.4】 企業名: 神田産業(株) 業種等: 段ボール箱の製造販売 本社所在地: 須賀川市 入居日: 平成20年2月1日 主な研究案件: ①段ボール製造機械の検査装置 ②段ボール業における小ロット多品種生産対応自動機 など</p>
<p>【支援室 No.5】 企業名: ㈱アクトメディカルサービス 業種等: 医療機器の企画・研究・販売 本社所在地: 福島市 入居日: 平成18年9月1日 主な研究案件: ①位相シフト法を応用した新しい血流計測システム など</p>	<p>【支援室 No.6】 企業名: ㈱フツロ 業種等: 医療機器の企画・研究・販売 本社所在地: さいたま市 入居日: 平成18年8月21日 主な研究案件: ①医療機器：スイング鉗子の開発 ②生分解性プラスチック処理システム など</p>	<p>【支援室 No.7】 企業名: ㈱ビーアンドエム 業種等: 精密機械器具の製造 本社所在地: 会津若松市 入居日: 平成18年8月21日 主な研究案件: ①タクトイルマッピングシステム ②多機能型卵子操作システム など</p>	<p>【支援室 No.8】 企業名: ㈱向山製作所 業種等: 電子部品の組立、加工 本社所在地: 大玉村 入居日: 平成18年9月1日 主な研究案件: ①食文化(美味しさの定義)に関する研究 ②非接触による測定に関する研究開発 など</p>
<p>【支援室 No.9】 企業名: 特定非営利活動法人福島おらが街ふるさと創り研究会 業種等: 構造物非破壊試験研究開発 本社所在地: 郡山市 入居日: 平成18年10月1日 主な研究案件: ①岩盤斜面崩壊予知のためのアコースティックエミッション ②超音波によるコンクリートクラック深さ測定器の実用化 など</p>	<p>【支援室 No.10】 企業名: クリーン・エネルギー・ネットワーク有限責任事業組合 業種等: 自然エネルギー研究開発等 本社所在地: 郡山市 入居日: 平成18年8月21日 主な研究案件: ①燃料電池・水素発生装置の高効率による省エネ制御システム など</p>	<p>【支援室 No.11】 企業名: ㈱ウィルファイン 業種等: 医療機器の企画・研究・販売 本社所在地: さいたま市 入居日: 平成20年10月1日 主な研究案件: ①医療従事者よりのアイデアを実用化・特許化 など</p>	

■平成20年度の主な動き

＜入居審査会の開催状況＞
 1) 入居者審査 9月4日
 ○審査の結果、2社が新たに入居、1社が部屋替え。
 ・支援室No.1 ㈱ライブニュー(部屋替え)
 ・支援室No.3 ㈱エキシライツ
 ・支援室No.11 ㈱ウィルファイン

2) 入居者延長審査 第1回:7月3日(6企業の更新決定)
 第2回:12月17日(2企業の更新決定)

＜インキュベーションセンター卒業＞
 1) (株)アイアールメディカル工房(郡山市)→6月卒業
 ○研究開発の成果
 ・バスケットワイヤーカテーテルの開発
 ・バイプレーションカテーテルの開発
 ・内視鏡手術用透明シースの開発


2) 福島県雨水活用事業協同組合(郡山市)→7月卒業
 ○研究開発の成果
 ・雨水ろ過システム実験プラント、実用プラント

＜平成18～20年度までのセンター視察来訪者＞
 平成18年度(8月～3月)の来訪者 165名
 平成19年度(4月～3月)の来訪者 657名
 平成20年度(4月～3月)の来訪者 553名
 合計1,375名

【展示品一覧】

No.	展示商品名	入居企業名等	支援室No.
1	人体模型ガラス備一式	㈱ウィルファイン	11
2	バスケットワイヤーカテーテル	㈱ウィルファイン	11
3	最小侵襲手術用鉗子	㈱フツロ	6
4	骨折固定金具	㈱フツロ	6
5	マイクロデバイス	㈱マタコティ(㈱ニック(㈱ビーアンドエム(株)))	(7)
6	完全無血清培養液	㈱マタコティ(㈱ニック(㈱ビーアンドエム(株)))	(7)
7	アクチュエーター	㈱ビーアンドエム	7
8	乳がんチェッカー	㈱タウザー研究所	2
9	尿失禁診断装置	㈱タウザー研究所	2
10	聴覚感覚ヘッドホン	㈱タウザー研究所	2
11	聴覚感覚調整器	㈱タウザー研究所	2
12	燃料電池	グリーンエネルギーネットワーク	10
13	血流計	アクトメディカルサービス	5

＜展示コーナー＞
 インキュベーションセンターの入居者による研究成果を発表する「展示コーナー」を設置しました。ぜひご覧ください。



展示コーナー

COLUMN IMから 「地域起業相談会」の開催

福島県内で、起業に関心がある方や起業を志す方、新たに事業を始められる方、事業を開始して間もない方を対象として相談会をインキュベーションセンターにて開催致しました。相談の問合せは6件有りました。機密保持の観点より相談内容は一部しかお伝えできませんのでご理解願います。

<p>＜相談案件1＞50歳代の畜産農家 現在、配合飼料が高騰し、畜産農家は悲鳴をあげている。何とか配合飼料の代替品について検討できないだろうか。</p>	<p>＜相談案件2＞30歳代インターン医師の親 1. 開業地の選択のポイント 2. 開業までのコンサルティング</p>	<p>＜相談案件3＞40歳代ベンチャー起業 起業して1年、自分としてはしっかりしたビジネスプランをもって起業したつもりではあるが、技術開発力は充分あるのに如何して仕事が入らないのか。</p>
<p>＜相談案件4＞40歳代サラリーマン 今、設計の関連会社に勤めている。今後ロボット関係の設計の仕事で自立したい。特に介護ロボットの開発に従事したい。</p>	<p>＜相談案件5＞30歳代公務員 介護関係の事業を立ち上げたい。出来ればスタートはデザイナーズより始めたい。この人はもの凄いロマンの持ち主と思われる。今の安住した公務員の職場を投げ捨て、高いリスクに果敢に挑戦しようとする意気込みに感動した。</p>	<p>＜相談案件6＞20歳代サラリーマン 農商工連携の組織を立ち上げたい。福島は農業王国と言われながら大きな施策を講じていない。今、この時期にネットワークを駆使して農商工連携を立ち上げたい。</p>

今回の相談者は世の中のニーズを的確に捉え、相談者自身の夢を実現させるしっかりしたビジネスプランを有し、近い将来良い成果を期待できる人たちであったと思つた。まだまだ地域も捨てたものじゃない。これからの日本の将来を担う若者が福島にも大勢いることに、安堵を覚えたのである。

「Meister's College 2008」(マイスターズ・カレッジ 2008)

【日時】 平成20年10月2日(木)～12月17日(水)
【場所】 郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター
日本大学工学部

【参加】 18名
【主催】 ㈱郡山地域テクノポリス推進機構
【共催】 日本大学工学部
福島県立郡山高等技術専門学校

◎先端加工技術コース

【日時】 平成20年10月2日(木)～11月20日(木)
 基本的に毎週火曜日または木曜日の午後6時から
【場所】 郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター
日本大学工学部
【参加】 9名

「先端加工技術コース」は、日本大学工学部の教授を講師に迎え、期間中延べ12日間(開講式・特別講義、座学(5日)、実習(5日)、閉講式)にわたり、次の5つの分野に関して研修を行いました。


5つの分野は、①脆性材料に関する特殊加工技術、②表面改質と溶射、③MEMS、④ウォータージェット加工、⑤電子材料と半導体デバイスで、各分野とも2時間の座学とそれに関連した3時間の実習により構成され、受講生は、合計25時間のプログラムを受講しました。

プログラム

■特別講義 「トライボロジー」
【講師】 日本大学工学部教授 加藤 康司氏

【講師】 日本大学工学部教授 橋本 純氏

座学 「脆性材料の破壊とその応用」
実習 「脆性材料の特殊加工」



【講師】 日本大学工学部教授 横田 理氏

座学 「表面処理技術と溶射工学」
実習 「溶射被膜の作製と評価」




【講師】 日本大学工学部教授 坂野 進氏

座学 「MEMSの製作技術」
実習 「クリーンルーム内でのMEMSの製作」



【講師】 日本大学工学部教授 清水 誠二氏

座学 「ウォータージェット加工の基礎と応用」
実習 「アプレシブジェット及びキャビテーションジェットに関する実習」



【講師】 日本大学工学部教授 清水 博文氏

座学 「電子材料と半導体デバイス」
実習 「半導体デバイスにおける薄膜作製と評価技術に関する実習」



受講者アンケートでは…
 「普段見ることのできない設備や体験ができた。」
 「新鮮な刺激になった。」などの声が寄せられました。

◎マシニングセンタ入門コース

【日時】平成20年10月2日(木)～12月17日(水)
基本的に毎週水曜日または金曜日の午後6時から

【場所】郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター
【参加】9名

「マシニングセンタ入門コース」は、福島県立郡山高等技術専門学校の先生方を講師に迎え、期間中の延べ8日間(開講式・特別講義、座学(2日)、実習(4日)、閉講式)にわたり、研修を行いました。

2時間×2日の座学にて、マシニングセンタの概要、プログラミングの基礎及び応用動作のプログラムについて説明を受けました。

その後、3時間×4日の実習にて、手動操作として、軸移動、主軸回転、主軸への工具取り付けを、MDI運転として、早送り位置決め、工具交換を行い、段取り操作としては、工具登録、工具装着、心出しの作業や工具長補正、工具径補正の入力操作を、プログラム操作として、入力、登録、編集操作を、自動運転の事前操作として、プログラムチェック、空運転を行いました。

最後に、まとめとして、プログラムの作成から加工までを実践的に実習しました。

プログラム

■特別講義 「トライボロジー」

【講師】 日本大学工学部教授 加藤 康司氏

【講師】 郡山高等技術専門学校 教務主任 根本 和幸氏
郡山高等技術専門学校 教務 花見 敬士氏

【座学】 「マシニングセンタのプログラム入門」

【実習】 「マシニングセンタ操作入門」



受講者アンケートでは・・・

「基本から学べて良かった。」 「知らなかった方法を学んだことで、作業効率アップに役立った。」などの声が寄せられました。

学生ベンチャー支援事業「ドリームゲートセミナー2008」

【日時】平成20年11月8日(土)、10日(月)、17日(月)、19日(水) 4日間

【場所】郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター

【参加】16名

【主催】(財)郡山地域テクノポリス推進機構

郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会

日本大学工学部、郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会と連携し、今年で2回目となる「ドリームゲートセミナー」を開催いたしました。

ドリームゲートセミナーは、ベンチャー精神あふれる学生を育成するため、経営力や交渉力、決断力やチャレンジ精神を身につけ、「起業家」的感覚を学んでもらうことを目的としています。

全体を通して、学生は「経営者的感覚を持って仕事をする」ということの大切さや、主体的にものごとをとらえることの重要性などを学ぶことができたようで、アンケートでも「ディベートがとても楽しく勉強になった」「ベンチャーわいがや塾が大変分かりやすく楽しかった」などの意見が寄せられました。



▲マネジメントゲームを行う学生と高橋氏

▲ディベート「美人は得か」

▲ベンチャーわいがや塾

◆ 第1日目 ◆ 9:00～17:00
開講式及び「マネジメントゲーム」
(2期分の模擬経営ゲームを通じて経営の実体験)
【講師】BMネットワーク
代表 高橋 茂人氏

◆ 第2日目 ◆ 16:30～19:30
「ディベート(チーム対抗討論会)」
【講師】(有)ばすわーど
代表取締役 水上 哲夫氏

◆ 第3日目 ◆ 16:30～19:30
「プレゼンテーション(ビジネスプラン発表会)」
【講師】(有)ばすわーど
代表取締役 水上 哲夫氏

◆ 第4日目 ◆ 16:30～19:30
「ベンチャーわいがや塾
(経営者の講演と意見交換会)」
【講師】エヌケー・テック(株)
代表取締役 内藤 清吾氏
(株)コンピューターシステムハウス
取締役会長 須藤 保夫氏

高度IT人材育成事業

ICTリーダー研修講座

【日時】平成21年1月26日(月)～1月30日(金) 5日間
9:00～17:00

【場所】日本大学工学部

【参加】11名

【講師】日本大学工学部 情報工学科 専任講師 田中 宏卓氏
(株)エフコム 紺頼 祐子氏 / 渡辺 一人氏
カ丸 幸代氏 / 吉成 あけみ氏

【主催】(財)郡山地域テクノポリス推進機構
郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会

【共催】日本大学工学部

郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会、日本大学工学部と連携し、職場におけるICT活用のリーダーとなる方を対象に、システムやネットワークに関する基礎を固め、トラブルシューティング等の実習を交えながら、より高度で実践的な知識を習得していただくため「ICTリーダー研修講座」(昨年度までの「OA推進リーダー研修講座」を改称)を開催いたしました。

講座は、従来の初級システムアドミニストレータ試験と、平成21年春からスタートした新試験「ITパスポート試験」に対応した内容で開催いたしました。



プレゼンテーション実習

【日時】平成20年12月4日(木) 13:00～18:00

【場所】(有)ばすわーど PC研修室

【参加】13名

【講師】(有)ばすわーど
代表取締役 水上 哲夫氏 / 松本 美幸氏

【主催】(財)郡山地域テクノポリス推進機構
郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会

営業に限らず、仕事上で社内外の人を相手に説明をする機会はとても多く、相手の心を掴み、分かりやすく伝え、説明する技術は欠かせません。

ビジネスパーソン必須の基礎知識といえる「プレゼンテーション」を体系的に学んでいただくために、須賀川市の(有)ばすわーどの協力を得て「プレゼンテーション実習講座」を開催いたしました。

■研修内容■

前半
PowerPointの講習

後半
プレゼンテーション作成と発表、講評



JavaScript講座

【日時】平成20年7月15日(月)～9月2日(金) 8日間
9:00～12:00

【場所】郡山地域職業訓練センター

【参加】12名

【講師】(有)パソネットワールド 歌川 裕一氏

【主催】(財)郡山地域テクノポリス推進機構
郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会

今年度の新事業として、Webブラウザで利用されるスクリプト言語の一つである「JavaScript」を学ぶ講座を開催いたしました。

これまで、プログラミングに興味はあったけれど最初の一步がなかなか踏み出せなかった方、また、基礎からきっちり再確認したいという方に向けた講座で、JavaScriptの基礎文法から始め、話題の「Ajax」を使ってサイトにGoogleマップを組み込むところまでを習得しました。



市町村職員パソコン研修会

【日時】平成20年8月5日(火)～8月6日(水) 9:30～16:00

【場所】玉川村 就業改善センター 2階 農研室

【参加】18名(8月5日) 20名(8月6日)

【講師】(株)福島情報処理センター 瀬谷 由美子氏

【内容】Word 2007基礎、Excel 2007基礎

【主催】郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会

郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会では、インターネットやパソコンを有効活用し、行政情報等の事務効率を推進する人材育成を図るとともに、市町村職員のPCスキル向上に資するため、パソコン研修会を開催いたしました。

研修は、自治体からの要望に添った内容で行いました。

IT交流プラザ活動報告

郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会は、(助)郡山地域テクノポリス推進機構と連携し、「ICT」をキーワードにテクノポリス圏域企業やSOHO・個人等を対象に会員を募り、情報交換や情報収集の場を設けています。

またテクノポリス圏域内のICT化支援のため、ITやホームページの利活用、最新のWeb技術動向などについて「IT交流プラザ事業」を実施し、IT交流プラザ会員だけでなく圏域内企業等にも役立つ情報を提供しています。

平成20年度は以下の事業を開催いたしました。

第1回 クリエイターズ・フォーラム「CSS Nite in FUKUSHIMA」

テクノポリス圏域で活躍するWebクリエイターのスキルアップ・相互交流を促進し、圏域内IT企業の活性化に資するため、Web業界最先端の講師による業界最大級の人気イベント「CSS Nite」を県内で初開催いたしました。

CSS Niteは、Webクリエイターにとって役立つトピックを広く取り上げるセミナーで、これまでに関連イベント95回、のべ15,700人以上が参加しています(平成21年3月現在)。福島県での開催は、地方版の10ヵ所目となりました。

【日時】平成20年6月28日(土) 14:00~19:05

(交流会19:20~20:30)

【場所】セミナー：ビッグパレットふくしま 1階
コンベンションホールB

交流会：ビッグパレットふくしま 2階 福豆や

【参加】107名(交流会62名)

【主催】(助)郡山地域テクノポリス推進機構
郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会

【共催】CSS Nite



▲「CSS Nite in FUKUSHIMA」

内容

- 総合司会・オープニング
(株)スイッチ/CSS Nite主宰 鷹野 雅弘 氏
- 「これから求められるCSSデザイン」
(株)サイバーガーデン 益子 貴寛 氏
- 「Adobe Creative Suite 3 Web Premiumで行こう! + Adobe AIRでいよいよデスクトップに上陸」
アドビシステムズ(株) 西村 真里子 氏 / 轟 啓介 氏
- 「マイクロソフトのWebへの取り組み」
マイクロソフト(株) 春日井 良隆 氏
- 「制作者と発注者にやさしいWebディレクション」
みどりかわ えみこ 氏
- 「デスマーチ VS ハッピークリエイティブ」
(株)ロフトワーク 林 千晶 氏

第2回 「そうだ、葉っぱを売ろう! ~ITとアイデアで町おこし(徳島の小さな町の奇跡)~」

テクノポリス圏域内のIT関連企業、市町村等自治体、団体、また起業を目指す人々に向け、「ICTを活用し、地域の自然環境や資源を活かしたニュービジネスで活力あるまちづくり」をテーマに、ITとアイデアによる町おこしについて、社会起業家として全国的に注目されている(株)いろどり 代表取締役 横石知二氏の講演会を開催いたしました。

横石氏は「おばあちゃん達の葉っぱビジネス」の仕掛け人としてテレビ放送等に数多く出演されており、また同社のある徳島県上勝町は、マイクロソフト社と共にICTによる地域振興のモデル事例創出を目指しています。

【日時】平成20年9月16日(火) 10:00~12:00

【場所】ビッグパレットふくしま 3階 中会議室B

【参加】82名

【講師】(株)いろどり 代表取締役 横石 知二 氏



▲横石 知二 氏

第3回 IT活用研究会「Webサービス徹底活用セミナー」

Gmail、オンラインストレージなど、クラウドコンピューティングと呼ばれるWeb上で提供されるサービスが続々と公開されています。これら最新のサービスを使いこなすことにより仕事の効率化や質の向上につなげていただくため、Google関連の著書10冊以上、そしてITベンチャーとして名高い(株)はてなから中国最大手の検索サイト「百度(バイドゥ)」にヘッドハンティングされた水野貴明氏に、「Webサービス徹底活用法」と、最新の検索エンジン動向を併せて伺いました。



▲水野 貴明 氏

【日時】平成20年10月3日(金) 14:00~16:00

【場所】ビッグパレットふくしま 3階 中会議室B

【参加】60名

【講師】(株)百度 エンジニア/テクニカルライター 水野 貴明 氏

第4回 「産・官・学連携フォーラム」

(助)郡山地域テクノポリス推進機構と連携し、日本大学工学部と産・官・学組織の協力体制を強化させるため、各関係機関との連携促進に向けてフォーラムを開催しました(日本大学工学部との共同主催)。

【講師】(株)デンソー東日本

代表取締役社長 森本 有二 氏

【日時】平成20年11月19日(水)

【場所】日本大学工学部 50周年記念館

【参加】約300名

【内容】特別講演「デンソーのものづくり」

第5回 「CSS Nite in FUKUSHIMA, Vol.2」

参加者に大変好評を得た6月28日(土)の第1回に引き続き、第2回目となる「CSS Nite in FUKUSHIMA, Vol.2」を開催いたしました。開催の1ヵ月以上前には定員で締切りとなるなど、参加者の期待の高さが伺えました。

今回はテーマを「デザイン」に絞った4つのセッションを行いました。また東京からの講師だけでなく、地元・郡山からも講師としてCSS Nite in FUKUSHIMA実行委員長の國分亨氏が登壇いたしました。

第1回目の開催後、参加した方々の有志で勉強会が開催されるなど、クリエイターの交流の場が広がっています。

【日時】平成21年3月7日(土) 13:00~18:30

【場所】ビッグパレットふくしま 1階 コンベンションホールB

【参加】128名

【主催】郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会
(助)郡山地域テクノポリス推進機構

【共催】CSS Nite



▲「CSS Nite in FUKUSHIMA, Vol.2」

- 「春だ一番!海外Webデザイントレンド2009 Spring/Summer」
Design Wedge/(株)エフエックスピー 原 一浩 氏
- 「バランスのよいレイアウトを実現する「色テク」いろいろ」
矢野 りん 氏
- 「ワイヤーフレーム/カンパ/プロトタイプ制作を加速する Fireworks」
(株)スイッチ/CSS Nite主宰 鷹野 雅弘 氏
- 「ライブラリを活用した、Webコンテンツのドレスアップ」
dreamseeker/CSS Nite in FUKUSHIMA実行委員長 國分 亨 氏

郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議

郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議は、郡山地域テクノポリス圏域内の企業が保有する技術力、設備、営業力等の潜在能力を戦略的に活用する組織（アライアンス）を構築することによって、高度な研究開発、新しい受発注及び各種産業振興支援施策の担い手となり、圏域内の産業の活性化を図ることを目的としています。当会議への入会は随時受け付けています。詳しくはテクノポリス推進機構事務局までお問い合わせ下さい。

当会議では、去る2月9日にホテルハマツにおいて「全体会・交流会」を開催しました。

各研究会（「環境保全・共生科学技術研究会」・「医療・福祉機器等関連新事業創出研究会」・「機能性材料・製造プロセス研究会」）の開催状況及び受発注の実績、企業訪問の活動状況について事務局から報告をした後、(株)茶木エンジニアリングの代表取締役 茶木哲夫氏から進出企業としてのプレゼンテーション、アスター工業(株)FATM事業部の取締役部長 石川宏幸氏からは会員企業としてのプレゼンテーションを行いました。全体会終了後、立地企業を囲み交流会を開催しました。



▲アライアンス形成会議 会長 内藤 清吾氏
(株式会社エヌケー製作所 代表取締役会長)

進出企業プレゼンテーション

【講師】株式会社 茶木エンジニアリング
代表取締役 茶木 哲夫氏

自社の会社概要、沿革、営業品目の説明と、仕事に対する取り組み方など、具体的事例を挙げながらのプレゼンテーションでした。



▲株式会社 茶木エンジニアリング
代表取締役 茶木 哲夫氏

会員企業プレゼンテーション

【講師】アスター工業株式会社 FATM事業部
取締役部長 石川 宏幸氏

「医療機器産業への進出」というテーマで、自社の会社概要、沿革、営業品目の説明と、医療機器製造許可申請の準備から取得まで、具体的事例を挙げながらのプレゼンテーションでした。



▲アスター工業株式会社 FATM事業部
取締役部長 石川 宏幸氏

(財)郡山地域テクノポリス推進機構では、産学官連携による研究開発の促進を目的に次の研究会活動を支援するとともに、大学等との連携により、技術シーズの紹介・提案、企業ニーズの大学等での検証、シーズとニーズのマッチングによる具体的な産学共同研究開発案件の掘り起こしなどを行っています。現在、分野別に「環境保全・共生科学技術研究会」・「医療・福祉機器等関連新事業創出研究会」・「機能性材料・製造プロセス研究会」の3つの研究会が活動しています。

また、異業種交流グループ「アドホック研究会」が郡山と須賀川地域で組織され活動を行っています。

以下、これら研究会の活動状況を紹介します。

「環境保全・共生科学技術研究会」

(財)郡山地域テクノポリス推進機構と日本大学工学部との共同主催で同大学の環境保全・共生共同研究センターと連携した研究会です。環境をテーマとした研究シーズを地域の産業界と融合させ新事業創出を図ることが目的です。主な研究テーマは「大気、水質、土壌などの自然環境の保全・修復」、「省エネルギーやクリーンエネルギー」、「廃棄物の処理・リサイクルや未利用資源の活用」、「環境に関する影響評価・分析」、「環境関連装置・環境に調和した製品の開発」などです。

平成20年度 第1回

【日時】平成20年6月23日(月)

【場所】日本大学工学部
50周年記念館

【参加】約100名

【内容】「地域の循環型社会形成の実現に向けて」をメインテーマとし、省エネルギーやCO₂削減、資源循環などについて、地域における取り組みや課題を紹介して、循環型社会形成の現状と問題点について議論を深め、今後の展望を探りました。

【主催者挨拶】

郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議

会長 (株)エヌケー製作所 代表取締役会長)内藤 清吾氏

産学官の果たすべき役割やビジネス面での新たな経営戦略を考える上で役立てて欲しいことや、今後とも、こうした研究会を通じて、学術機関・企業・行政との連携を進め、企業の研究開発や新事業の創出の可能性をさらに引き出していただきたいと挨拶しました。

【コーディネーター】

日本大学工学部 土木工学科 教授 長林 久夫氏

各地で循環型社会形成に向けた取り組みが展開されており、県内における活動も資源有効利用、食品リサイクル等、多岐に渡って展開されています。しかしながら、必ずしも市民に熟知、浸透した活動として定着していないため、その課題を整理し、真に実のある活動にするための調査・検討が必要であることを説明しました。



テーマ1：「須賀川市菜の花プロジェクト」の取り組みについて

須賀川市市長公室企画調整課 有馬 毅氏

地球温暖化の進展や耕作放棄地の増加などの社会の持続性を脅かす課題に対し、地域循環型のサイクルを確立させ、その解決を図っていくことを目的として、平成19年度より地域循環型社会の形成を目指し、市内事業者、農業団体、NPO等と協働して実施している取り組みであることを説明しました。

テーマ2：「環境再生事業」について

株式会社ミツヤマグリーンプロジェクト 取締役 満山 正美氏

衰退一途の林業業界の中、林業の高効率化を図り、最終処分のない木質資源の100%リサイクルやCO₂を増加させないバイオマス発電への供給を推進しています。今後高まる木質バイオマス需要も含め、地球温暖化対策としての森の働きの必要性が見直される中、環境再生事業としてのトータルな木質バイオマスの活用を目指していることを説明しました。

テーマ3：「廃棄物の有効利用促進に係る現状と展望」について

磐梯熱海温泉旅館協同組合 理事長 村田 英男氏

磐梯熱海地区内の旅館からは多くのゴミが排出されるが、産業廃棄物として扱われるため、個々の旅館が個別に産廃処理業者と契約しています。分類された廃棄物を旅館横断的に回収できるような仕組みができれば、資源の有効利用に結びつくと考えられることを提言しました。

*各講師発表後、日本大学工学部の長林教授をコーディネーターとして、パネルディスカッションが開催されました。

平成20年度 第2回

【日時】平成20年10月6日(月)

【場所】郡山布引高原風力発電所(郡山市湖南町赤津)

株式会社あいづダストセンター 柳津事業所
(河沼郡柳津町)

【参加】22名

【内容】視察研修会

CO₂削減効果が期待される大規模風力発電事業及び廃棄物の収集運搬、中間処理、最終処分の事業を通してあらゆる廃棄物の適正処理を推進している事業所の視察研修を行いました。



郡山布引高原風力発電所(郡山市湖南町赤津)

郡山布引高原は猪苗代湖の南に位置する標高約1,000mの高原で、磐梯山や猪苗代湖が一望できる絶景の地です。この高原に合計出力が最大で65,980kwの国内最大級の風力発電所が建設され、高さ約100mの風車がクリーンエネルギーを作り出しています。



株式会社 あいづダストセンター柳津事業所(河沼郡柳津町)

あいづダストセンターは、一般廃棄物・産業廃棄物を収集運搬・中間処理(サーマルリサイクル)・最終処分まで、一環システムで安全委託事業を行っています。また、エネルギー・資源の使用量の削減及びリサイクルの推進、並びに環境負荷の低減に取り組んでいます。

「医療・福祉機器等関連新事業創出研究会」

(財)郡山地域テクノポリス推進機構と日本大学工学部との共同主催で、同大学の次世代工学技術研究センターと連携した研究会です。医学と工学などの学問の領域を超えた異なる分野の研究体制により新事業創出を図ることが目的です。「医療や福祉の現場ニーズに関する懇談会」、「医学・工学産業界連携フォーラム」、「先進企業の発表会」などを開催しました。



平成20年度 第1回

【日時】平成20年9月25日(木)
 【場所】日本大学工学部「次世代工学技術研究センター」
 【参加】約50名
 【内容】「医療機器産業の現状及び企業のアライアンスとブランド化の実態」をメインテーマに、講演とパネルディスカッションを実施しました。

【コーディネーター】日本大学工学部 電気電子工学科 教授 尾股 定夫 氏

- | | | | |
|---|--|------------------------------|----------------------------------|
| 【講演】 「医療機器産業の現状」 | 【講師】 経済産業省 商務情報政策局 医療・福祉機器産業室 室長補佐 廣瀬 大也 氏 | 【講演】 「ものづくりにおけるアライアンスとブランド化」 | 【講師】 株式会社 篠崎製作所 代表取締役専務 井ノ原 忠彦 氏 |
| 【内容】 ・世界の医療機器市場の動向
・医療機器の市場操作
・国際競争力について
・海外医療機器メーカーの状況
・国内医療機器メーカーの状況
・政府の動き
・福祉機器分野について
・医療情報化分野について | 【内容】 ・開発と生産のアライアンスシステム
・リスク管理
・秘密情報管理
・生産管理体制
・アライアンスシステムのブランド化
・共同開発・作成のブランド
・ユーザーニーズの共同ブランド
・異業種交流会 城南ブレインズ | | |



平成20年度 第2回

【日時】平成20年12月12日(金)
 【場所】日本大学工学部「次世代工学技術研究センター」
 【参加】約60名
 【内容】20世紀に生まれた自動車産業のように、「『ロハスの家』で21世紀の新たな産業興し」についてと医療機器産業開発に向けての取り組みについて、講演とパネルディスカッションを実施しました。

【コーディネーター】日本大学工学部 電気電子工学科 教授 尾股 定夫 氏

- | | | | |
|-------------------|------------------------------------|-------------------|--|
| 【講演】 「ロハスの家と地域産業」 | 【講師】 日本大学工学部 機械工学科 工学博士 教授 加藤 康司 氏 | 【講演】 「医療機器産業への進出」 | 【講師】 アスター工業 株式会社 FATM事業部 取締役部長 石川 宏幸 氏 |
|-------------------|------------------------------------|-------------------|--|

- 【内容】 「ロハスの家」について
 ・自動車産業に変わる地域産業、地域振興について
 ・エネルギーの自立、エネルギー制御の技術について



- 【内容】 FATM事業部設置、独立創業、産業機械受注について
 ・医療機器製造業許可準備から取得について
 ・大学、公的研究機関との連携について
 ・米国の就業構造の変化



「機能性材料・製造プロセス研究会」

(財)郡山地域テクノポリス推進機構の主催で、日本大学工学部、福島大学地域創造支援センター、奥羽大学の3大学と福島県ハイテクプラザとの共催です。機能性材料と新素材及び新製造技術は経済発展の礎となるものであり、研究開発の需要も高い分野です。「新しい材料の開発や製造技術」、「現行材料の製造技術の改善」などがメインテーマとなっています。

平成20年度 第1回

【日時】平成20年7月14日(月)
 【場所】日本大学工学部「次世代工学技術研究センター」
 【参加】約40名
 【内容】郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンターに入居している(株)ライブニューと日本大学工学部建築化学第2研究室の連携についての紹介及びその成果内容についての講演と実験並びに施設見学を実施しました。

【コーディネーター】日本大学工学部 物質化学工学科 教授 西出 利一 氏

- 【講演】 「環境関連技術開発のための企業と大学の連携」
 日本大学工学部 建築学科 教授 出村 克宣 氏
 【講演】 「水の熱化学分解法による水素製造技術の開発」
 株式会社 ライブニュー 代表取締役 岩井 達也 氏

- ＜実験＞
 ・小型プロトタイプ水素製造装置による水素製造の実験
 ＜施設見学＞
 ・郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター
 ・日本大学工学部 工学研究所 次世代工学技術研究センター



平成20年度 第2回

【日時】平成20年10月24日(金)
 【場所】福島大学
 【参加】約80名
 【内容】福島大学より炭の機能性材料開発と産学官連携での地域活性化について、また福島セラミックより付加価値の高い部品を作る装置についての講演と施設見学を実施しました。

【コーディネーター】福島大学 共生システム理工学類 教授 佐藤 理夫 氏

- ＜施設見学＞
 ・共生システム理工学類研究実験棟(機械加工室、共同分析室等)7階建、延床面積3,861.90平方メートル

テーマ1: 「炭を用いた機能性材料の開発」について

- 福島大学 共生システム理工学 教授 浅田 隆志 氏
 ・炭の利用分野(物理的利用法、化学的利用法、趣味的利用法)
 ・炭の製造条件と吸着剤としての機能性は、製造条件により異なるので、吸着剤としての用途に応じた製造条件が重要である
 ・炭化処理による木質バイオマスの水素及び機能性炭化物への変換



テーマ2: 「産学官連携活動で地域を活性化するには」について ~情熱を持ち 未来を構想し 行動する~

- 福島大学 地域創造支援センター
 文部科学省 産学官連携コーディネーター 森本 進治 氏
 ・大学を取り巻く産学官連携活動の現状
 ・大学と地域の課題
 ・なぜ、外部人材が必要なのか
 ・福島大学の方針
 ・マッチングを促進する組織的環境整備
 ・活化するには、身の丈にあった産業クラスター形成(真の豊かさ)と社会連携を通して、教育・研究の向上(新たな学問形成)並びに公的資金に頼り切らない、適正な活用が重要である



テーマ3: 「高機能セラミック」について

- 福島セラミック(株) 代表取締役社長 加藤 友之 氏
 ・各種セラミックス及び特性等について
 ・当社の品質方針と目標並びに環境方針
 ・企業の社会的責任
 ・付加価値の高い部品を作る装置に使用される部品と保守メンテナンスに使用される部品について



「アドホック研究会」

会員相互の技術、情報などの交流と幅広い研究を通して、新技術、新商品、新事業の開発と新市場の開拓を促進するとともに、生産・販売面での相互協力を促進し、会員企業の成長発展と地域産業の振興に貢献することを目的に活動しています。会員はテクノポリス圏内(郡山市、須賀川市、三春町、鏡石町、玉川村、石川町)などの企業経営者・役員です。

■アドホック研究会(郡山)

会員:14名
会長:坂口 進(株)坂口伝導工機 代表取締役

【平成20年度 事業内容】

- ◇ 4月定期総会
- ◇ 5月例会 東京大学 堀洋一教授による講演会、平成20年度事業計画(月別テーマ)の決定
- ◇ 6月例会 企業視察 「神田産業(株)」「大越工業(株)」「向陽電気(株)東北事業所」(須賀川市)
- ◇ 7月例会 セミナー 演題 「小が大に勝つ戦略」
講師 アサヒビール名譽顧問 中條高德氏
- ◇ 8月例会 企業視察 「阿部製粉(株)」「(株)北斗型枠製作所」(郡山市日和田町)「(株)アサヒビール福島工場」(本宮市)
- ◇ 9月例会 「第10回ふくしまユニバーサルデザインフェア」参加、「進出企業との交流懇談会」への参加
- ◇ 10月例会 海外視察研修(韓国 ソウル特別市、仁川広域市) (株)Samyang減速機、(株)Lubo及び松島新開発地域 ※須賀川方部アドホック研究会と合同研修
- ◇ 11月例会 「産・官・学連携フォーラム」への参加
- ◇ 12月例会 セミナー 演題「経営革新の考え方とポイント」
講師 中小企業診断士 永島巖氏
海外視察研修報告会
- ◇ 3月例会 「テクノポリス特別講演会」への参加、平成21年度事業計画の意見交換



▲3月例会の様子



▲8月企業視察「(株)北斗型枠製作所」

■須賀川方部アドホック研究会

会員:18名
会長:佐藤 博(株)ひまわり 代表取締役

【平成20年度 事業内容】

- ◇ 4月定期総会
- ◇ 5月例会 東京大学 堀洋一教授による会員企業訪問・講演会、平成20年度の事業計画についての意見交換
- ◇ 6月例会 福島県農業総合センター視察(郡山市)
- ◇ 7月例会 会員企業訪問・アルファ電子(株)(天栄村)
- ◇ 8月例会 電気自動車についての意見交換
- ◇ 9月例会 電気自動車の視察(日本大学工学部)
- ◇ 10月例会 海外視察研修(韓国 ソウル特別市、仁川広域市) (株)Samyang減速機、(株)Lubo及び松島新開発地域 ※アドホック研究会(郡山)と合同研修
- ◇ 11月例会 海外視察研修報告会
- ◇ 12月例会 日本大学工学部 准教授 西田保幸氏による講演・電気自動車プレス発表
- ◇ 1月例会 電気自動車についての意見交換
- ◇ 2月例会 電気自動車についての意見交換
- ◇ 3月例会 平成21年度事業計画及び電気自動車についての意見交換



▲7月会員企業視察「アルファ電子(株)」



▲6月福島県農業総合センター視察



▲12月電気自動車プレス発表

平成20年度助成事業

(助)郡山地域テクノポリス推進機構では、テクノポリス圏内企業や企業グループ(産学連携を含む)等の研究開発や起業化の取り組みを支援するため、各種助成事業を設けています。

1. F/S支援事業

研究開発や新事業創出等の成功率を上げるために、開発に着手する前段のフィジビリティスタディ(実現可能性・起業化可能性)の調査検討=F/S)を行う場合に経費の一部(対象経費総額の2/3以内で100万円を限度)を助成します。

3. 地域技術起業化助成事業

技術革新の進展に即応した技術を製品化・商品化するため、その事業に向けて必要な商品開発、情報収集、市場開拓等の事業を行う企業や共同研究グループに対して起業化に要する経費の一部(対象経費総額の2/3以内で500万円を限度)を助成します。

平成20年度の助成事業対象企業は以下のとおりです。

【F/S支援事業】

- ◆企業名:カレントテクノ株式会社(郡山市)
■F/Sテーマ:「福島産「桃」の副産物を活用した化粧品の開発」
本県の主要農産物である「桃」の副産物(種子・葉)は廃棄物処理されている現状であるが、昨今の地球環境の問題から資源の有効活用を検討することは必須であり、本県が掲げる「うつくしまふくしま」の概念からも必要な取り組みと考え、「桃」の副産物の有効活用を目指し、桃仁(桃種)・桃葉エキス配合基礎化粧品の開発に着手。
■F/S支援事業期間:平成20年7月30日~20年12月15日(完了)
■助成金交付金額:100万円

【地域技術起業化助成事業】

- ◆企業名:株式会社ひまわり(須賀川市)
■起業化テーマ:「小型浄化槽早期異常検知装置の開発」
これまでの研究開発で得られた基本技術をもとに、検知精度・信頼性などの向上を図ると共に、市場調査や販路開拓などの商品化作業も進め、平成21年度上半期以内での上市を目指す。この装置の開発は、郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議会員企業の「アスター工業(株)」と「エスケー電子工業(株)」との共同事業により実施。
■事業の実施期間:平成20年11月1日~21年5月31日(実施中)
■助成金交付額:500万円
- ◆企業名:株式会社タウザー研究所(郡山市)
■起業化テーマ:「聴覚感度調整装置の製品化」
両耳の聴覚バランスを自由に調整でき、語学の効率的な学習やアスリートの効果的なイメージトレーニングが可能となる新しいヘッドフォンやステレオイヤホンの起業化を行う。この事業は、「日本大学工学部」の指導・協力と「(株)ピーアードエム」及び「(株)東日本インベリアル」との共同事業により実施。
■事業の実施期間:平成21年3月1日~22年2月28日(実施中)
■助成金交付額:500万円



2. 研究開発助成事業

新技術または新製品の開発、生産工程の合理化または製品の付加価値化、これらに類する技術の高度化に関する研究開発を行う企業、共同研究グループに対して、研究開発に要する経費の一部(対象経費総額の2/3以内で300万円を限度)を助成します。

4. 債務保証事業

新技術、新製品などの研究開発を行うため、優秀な技術力、製品開発力がありながら資金調達力不足などの理由で、研究開発が促進できない企業のために、研究開発に要する資金の金融機関からの借入に際し、無担保で2,000万円まで債務を保証します。

【研究開発助成事業】

- ◆企業名:クリーン・エネルギー・ネットワーク有限責任事業組合(郡山市)
■研究開発テーマ:「携帯用・非常用燃料電池の研究開発」
大手企業が開発を進めている方式とは異なり、CO₂、COを排出しない環境負荷に配慮したコンパクトな全天候式「非常用・携帯用燃料電池」の試作機を開発。装置の開発は「日本大学工学部」の指導・協力と「マルワテクノ株式会社」との共同研究により実施。
■研究開発期間:平成19年12月25日~20年5月30日(完了)
■助成金交付額:180万円
- ◆企業名:株式会社アーバン設計(郡山市)
■研究開発テーマ:「重量コンクリートによる護床および根固めブロックの研究開発」
コンクリートの砂に比重2.35のガーネットを代用し、力学特性、物理特性などの科学特性を検証し、コンクリートとしての利用の可能性を検討する。この開発は、「日本大学工学部」の指導・協力と「NPO法人福島おらが街ふるさと創り研究会」との共同研究により実施。
■研究開発期間:平成20年11月1日~21年10月31日(実施中)
■助成金交付額:300万円
- ◆企業名:カレントテクノ株式会社(郡山市)
■研究開発テーマ:「福島県産「桃」の副産物を活用した化粧品の開発」
本県の主要農産物である「桃」の副産物(種・葉)の有効利用を目指し、「産学官民」連携での桃仁・桃葉エキス配合化粧品の開発する。この研究開発は、F/S支援事業の結果を踏まえ、「国立大学法人福島大学理工学群」の指導・協力と「(株)イーストムーン企画福島支社」、郡山地域テクノポリスものづくりイノベーションセンター入居企業の「(株)フツロ テクノサイエンス事業部」と「(株)ケミカルプロコスメチック」及び「(株)ひまわり」との共同研究により実施。
■研究開発期間:平成21年2月27日~21年12月15日(実施中)
■助成金交付額:300万円



技術コーディネーター活動報告

「竹炭の小型燃料(華炭)とコンロの開発」

この「華炭とコンロ」の開発は(財)郡山地域テクノポリス推進機構の研究会事業「炭の研究会」より生まれた新商品であり、現在アライアンス会員企業やインキュベーションセンター入居企業によるプロデュースなどの支援の輪が広がっています。

この「華炭」は従来のアルコール固形燃料とは違い、竹炭のほのぼのとした朱色の炎は、アットホーム的な暖かい雰囲気を醸し出してくれます。

この「華炭」の消費者は一般家庭はもちろんのこと、温泉旅館、割烹料理店などをターゲットとしており、今ホテルや高級割烹などにモニターを依頼して結果を待っている状況です。

従来のアルコール固形燃料よりも優れた安全性と燃焼性を兼ね備えたこの「華炭」を、地域振興のため地場産業の竹炭を用いて開発します。「華炭」は自然に優しい「エコ」燃料であること、そして何よりも大切なことは消費者がより安心して使用できる商品であるよう開発に余念がありません。

何としても一日も早く食卓に「華炭とコンロ」が登場できるよう、首を長くして待っているところです。



「東京都内の医療機器メーカー訪問」

先日アライアンス・コア企業に同行して東京都内の医療機器メーカーを訪問いたしました。今回、見積り引き合いをいただいたお礼と、今後の更なる連携についてのお願いのためです。

その医療機器メーカーは東京都文京区の湯島にあります。訪問先への道筋には「**医療機器株式会社」や「株式会社**医療機器」など、どこを見渡しても医療機器メーカーだらけと言っても過言ではないくらい多くの医療機器メーカーが軒を並べています。メーカーの方のお話では、湯島にあっては江戸時代から「神田御玉ヶ池種痘所」の歴史があり、明治に入り東大医学部の前身である東京医学校が設立され、戦前には陸軍病院もあったそうです。この湯島・本郷界隈は東大病院など医科大学付属病院と医療機器メーカーとが一体となって医療機器の開発に邁進した由緒ある地域であり、湯島と本郷にある医療機器メーカーは約600社に上るそうです。

そういえば道すがら東大の赤門が見えていました。

今回、見積り引き合いを戴いたのですが、残念ながら成約には至りませんでした。次回、再チャレンジをお願いして帰途につきました。

近年の改正薬事法により医療機器メーカーにも変化が見られ、アライアンス会員企業にもそろそろ出番が回ってくるのではと期待をしています。



平成20年度理事会等の開催報告

(財)郡山地域テクノポリス推進機構

理事会

- 第1回 【開催日】平成20年5月9日(金)
【場 所】書面表決
【議 事】評議員の選任
- 第2回 【開催日】平成20年5月29日(木)
【場 所】ビッグパレットふくしま
【議 事】平成19年度事業報告
平成19年度決算
- 第3回 【開催日】平成20年8月1日(金)
【場 所】書面表決
【議 事】評議員の選任
- 第4回 【開催日】平成21年3月24日(火)
【場 所】ビッグパレットふくしま
【議 事】平成20年度補正収支予算
平成21年度事業計画 平成21年度収支予算
一時借入に伴う担保設定
公益財団法人への移行認定のための「定款の変更の案」について
最初の評議員の選任方法について



評議員会

- 第1回 【開催日】平成20年5月23日(金)
【場 所】ビッグパレットふくしま
【議 事】理事の選任
平成19年度事業報告 平成19年度決算
- 第2回 【開催日】平成20年9月8日(月)
【場 所】書面表決
【議 事】理事及び監事の選任
- 第3回 【開催日】平成21年3月17日(火)
【場 所】ビッグパレットふくしま
【議 事】平成20年度補正収支予算
平成21年度事業計画 平成21年度収支予算
一時借入に伴う担保設定
公益財団法人への移行認定のための「定款の変更の案」について
最初の評議員の選任方法について



郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会

総会

- 【開催日】平成20年4月23日(水)
- 【場 所】ビッグパレットふくしま
- 【議 事】平成19年度事業報告及び決算
平成20年度事業計画及び予算

運営委員会

- 【開催日】平成20年4月16日(水)
- 【場 所】ビッグパレットふくしま
- 【議 事】平成19年度事業報告及び決算
平成20年度事業計画及び予算

監査会

- 【開催日】平成20年5月13日(火)
- 【場 所】(財)郡山地域テクノポリス推進機構事務局

平成21年度の主な事業・イベント

(財)郡山地域テクノポリス推進機構

会議関係

- 【4月】第1回理事会書面開催(評議員の選任)
- 【5月】平成20年度決算監査(5/11)
第1回評議員会(5/21)
第2回理事会(5/29)
- 【7月】評議員選定委員会(最初の評議員の選任)
- 【9月】第2回評議員会(理事・監事の選任及び定款変更案の承認)
第3回理事会(最初の代表理事・業務執行理事の選任及び定款変更案の承認)
- 【3月】第3回評議員会
第4回理事会

事業

- 【4月】助成事業第1回公募(4/15~5/14)
- 【6月】技術等審査委員会(6/29)
- 【7月】マイスターズ・カレッジ2009 受講生募集
インキュベーションセンター入居者審査委員会
- 【8月】助成事業第2回公募(8/17~9/16)
インキュベーションセンター入居企業成果発表会
- 【9月】マイスターズ・カレッジ2009(9月~12月予定)
- 【10月】技術等審査委員会
- 【11月】起業家支援セミナー
第10回産・官・学連携フォーラム(未定)
- 【12月】助成事業第3回公募(12/1~12/28)
インキュベーションセンター入居者審査委員会
- 【1月】テクノポリス特別講演会2010
- 【2月】技術等審査委員会

アライアンス・研究会

- 【6月】アライアンス役員会・総会(6/9)
第1回環境保全・共生科学技術研究会(6/18)
- 【7月】第1回機能性材料・製造プロセス研究会(7/14)
第2回環境保全・共生科学技術研究会(7/17)
- 【9月】第1回医療・福祉機器等関連新事業創出研究会(9/25)
- 【10月】第3回環境保全・共生科学技術研究会(10/13)
第2回機能性材料・製造プロセス研究会(10/23)
- 【12月】第2回医療・福祉機器等関連新事業創出研究会
- 【2月】アライアンス全体会

*公益財団法人移行時期により新たな理事会・評議員会の開催有り

郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会

- 【4月】平成20年度決算監査(4/10)
第1回運営委員会(4/24)
総会(4/27)
- 【6月】第1回IT交流プラザ(6/10)
- 【7月】第2回IT交流プラザ(7/9)
- 【9月】第3回IT交流プラザ
- 【10月】第4回IT交流プラザ(10/31)
「CSS Nite in FUKUSHIMA, Vol.3」
- 【11月】第5回IT交流プラザ(産・官・学連携フォーラム共催)
起業家支援セミナー(共催)
- 【1月】ICTリーダー研修講座(1/末~1週間予定)